

東北森林管理局

# 山形森林管理署 もがみ支署通信

## 林業専用道等の整備を進めています

豊富な森林資源を有効利用していくためには、木を「植える」→「育てる」→「伐採する」→「使う」→「植える」→「育てる」・・・という流れを循環させていくことが大切です。最上地域において、「植える」「育てる」「伐採する」作業を適切かつ効率的に行うためには、路網(林道等)の整備を行うことが重要です。

路網の一つに、「林業専用道」と呼ばれる道があります。林業専用道は、木材の搬出機能の向上等を目的に、大型トラックによる木材の搬出を想定した必要最小限の簡易な規格・構造の道です。

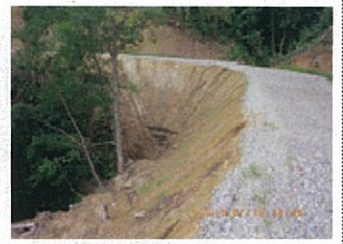
東北森林管理局では、林業の低コスト化に向けて、林業専用道の整備を推進しています。最上支署においても、平成27年度は、1,745m、平成28年度は、3,110mを作設し、木を伐採・搬出する際などに活用しています。

最上地域は、県内で最も林業が盛んな地域であり、国有林に対しても、木材の安定的な供給が期待されています。

このため、最上支署では、引き続き、林業専用道をはじめとする路網の整備を進め、安定的な木材供給に努めることで、地域産業の振興に貢献してまいります。



牛蒡根沢林業専用道(最上町)



萱落沢林業専用道(大蔵村)



小牧森林業専用道(最上町)



刃場川林業専用道(最上町)



災害復旧工事前



工事後

矢柏沢林業専用道(最上町)

### 森林施業に使用される路網

○林道 (イメージ)



○林業専用道 (イメージ)



○森林作業道 (イメージ)



最上支署では、現在、林業専用道、森林作業道の整備を推進しています

## 森林環境教室を支援しました

3月24日、最上町大堀地区においてNPO法人山と川の学校が主催する森林環境教室(わんぱく学校)が開催されました。当日は、最上町の児童13名が参加し、巣箱づくり体験などを行いました。最上支署からは、向町・志茂首席森林官が参加し、「森林環境と鳥のはたらき」をテーマに講演を行いました。

同NPO法人と最上支署、最上町は、子どもたちが様々な体験活動等を行うフィールドとして国有林を提供する「遊々の森」の協定を昨年3月に締結しており、3者連携しながら森林環境教育イベントを開催しています。

参加した子どもたちは、巣箱に入る鳥を思い浮かべながら楽しそうに取り組んでいました。



巣箱づくりを行う子どもたち



首席森林官による講演の様子



山形森林管理署 最上支署

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11



国民の森林・国有林